パートタイマー戦力化のメリット！

業務の合理化と向上	○ パートタイマーに基本業務を委譲することで、正社員はマネジメント業務に傾注でき、計画的な事業運営が可能となります。 ○ パートタイマーに基本業務を委譲することで、正社員は専門知識を必要とする部門（商品部、開発部等）への配置転換が可能となります。 ○ 評価面談等でパートタイマーとのコミュニケーション機会が増大することによって、意思の伝達や共有が可能となる組織風土が形成されます。
パートタイマーの定着率の向上	○ パートタイマーの定着率の向上によって、ノウハウの蓄積ができ、経験効果により生産性を向上させることが可能となります。 ○ 定着率が向上することによって、募集に係わる経費の削減や採用に関する業務の縮小が可能となります。 ○ パートタイマーの戦力化と定着によって、正社員による休日の取得が容易となり、労務問題のリスク軽減に寄与することができます。
パートタイマーによる組織活性化	○ 多様な潜在能力や主婦の視点を持ったパートタイマーの活用によって、新たな発想やアイデアが創出される可能性が高まります。 ○ 部門毎に職務遂行基準を明確にすることによって、自己啓発やＯＪＴが活発化して、教育を重視する組織風土が形成されます。 ○ パートタイマーのワークスタイルに応じたキャリア形成を支援することで、自己実現と業績向上の両立が可能となります。
適正な人件費の配分	○ 年功等の属人性に支配されず、能力やスキルで客観的に評価されることによって、適正な人件費の再配分が可能となります。 ○ 管理業務の委譲や時間外勤務や店舗間異動の可否等々に対応できる優秀なパートタイマーに人件費を優先的に配分できます。 ○ 賞与については、パートタイマーであっても企業業績と連動することによって、適正な賞与の配分が可能となります。
効率的なオペレーションの実現	○ パートタイマーの能力やスキル向上により、正社員の職務を大幅に移譲することによって、人的生産性の向上が図れます。 ○ パートタイマーの能力やスキルを正確に把握することで、精度の高いシフト編成が可能となりローコストオペレーションを実現できます。 ○ パートタイマーの能力やスキルを細かく把握することによって、業務の習熟度を高める教育が可能となります。